

『表面技術』依頼原稿の書き方

1. 原稿の種類

依頼原稿には、次の3種類があります。

いずれも、専門外の読者、特に学生会員(概ね学部4年生程度)にも理解しやすい内容と表現になるように配慮して下さい。

(1) 総説：特定のテーマについて、包括的にまとめた解説論文。

表面に関連する新しい技術や研究開発の進展および問題点、さらにその周辺・境界技術などを含む総合的な解説。

(2) 解説：特定のテーマについて、その構成している個々の要素を記述した解説論文。

表面に関連する新しい技術や課題などに関して、著者の専門を中心に平易に解説したもの。

(3) トピックス：特定のテーマについて、関連する内容を記述した解説論文。

表面に関連する新しい技術や研究結果などを紹介するコンパクトな解説。

2. 原稿の長さ

2.1 総説・解説

総説と解説は刷り上がり4～5ページとしてください。

(1) 表および図を含めて、総文字数 約 12,000 字以内を厳守してください。

(2) 表および図の数は合計8程度としてください。

2.2 トピックス

トピックスは刷り上がり3ページ程度としてください。

(1) 表および図を含めて、総文字数 約 8,000 字以内を厳守してください。

(2) 表および図の数は合計5程度としてください。

3. 原稿作成

原稿は、A4 判用紙を縦長として用い、原則としてワードプロセッサにより作成してください。体裁は、上部余白 35 mm, 下部余白 30 mm, 左右余白 30 mm, 明朝系 12 ポイント, 行間 2 行 (30～40 行/頁)を目安としてください。

4. 原稿表紙

所定の依頼原稿表紙に必要事項〔題名、著者名、所属・所在地(いずれも和英共)、キーワード(英)、連絡先〕を記載し、原稿に添付してください。

5. 章、節、項

本文の章、節、項は、次の記号で表してください。

章	1.	2.	(大見出し)
節	1. 1.....	2. 1.....	(中見出し)
項	1. 1. 1.....	2. 1. 1.....	(小見出し)

小見出し以下の区分は 1), 2)・・・を用います。また、大見出しは、その上を1行あけます。

6. 文 献

文献は該当人名あるいは事項の右肩に 1) のように通し番号を付し原稿の末尾にまとめてください。
なお、著者名は著者全員を<記載例>の要領で記載してください。

<記載例> 著者名 ; 誌名(英語はイタリック体), 巻数(ボールド体), 通巻ページ, (発行年).

* 通巻ページがない場合は, 巻数のあとに号数を入れてください。

- 1) 表協太郎, 神田四郎 ; 金属表面技術, **35**, 158 (1984).
- 2) J. H. White, M. C. Green, A. F. Yellow ; *J. Electrochem. Soc.*, **98**, 345 (1951).
- 3) 神田五郎 ; 表面処理, **21**, (8), 37 (1971).
- 4) 麻田 宏 ; 金属材料表面工学, p.40 (コロナ社, 1968).
- 5) K. Wilson ; Proc. 10th World Cong. Met. Fin., p.123 (Sur. Fin. Soc. Jpn., 1995).
- 6) 表協 実 ; 特開 2002-34321 (2002).

7. 表および図

表および図は, 別添の『表, 図の書き方』にしたがって別紙に作成してください。

8. 術語と単位

- (1) 術語は文部科学省監修「学術用語集」を基準とします。
 - (2) 数量の単位は国際単位系 (SI unit) を原則とします。他の単位系を使用する場合は, その単位の SI 単位に対する換算表を末尾に添付してください。
- * 「リットル」(非 SI 単位系) の記号はなるべく SI 単位系の dm^3 を使用してください。やむを得ず使用する場合は誤読をさけるため例外として大文字 L を用いてください。

9. 数式

- (1) 文章中の分数は x/a , $y/(b+c)$ と 1 行に書いてください。
- (2) 分数式, 積分記号 $\int$ 及び総和記号 Σ は 2 行分を使用してください。

10. 字体

物理量を表す記号(量記号)はイタリック体とします。

例 : 長さ l , 高さ h , 面積 S , 体積 V , 圧力 P , 力 F , 時間 t など

11. 原稿の提出方法

次の(1), (2), (3)を, 編集委員会宛に電子メールまたは郵送により提出してください。なお, 提出いただいた原稿は, 原則として返却しません。

- (1) 「表面技術」依頼原稿表紙 (英文, キーワード欄も必ずご記入ください。)
- (2) 本文原稿
- (3) 表および図

なお, 依頼原稿表紙, テンプレート (依頼原稿表紙つき) は, 下記の本会 HP に掲載しております。

https://www.sjf.or.jp/journal/jnl_proposal.html

●電子メールの場合

電子メールにファイルを添付して送信してください。原稿作成に使用した OS 名, ソフトウェア名 (Version) をメール本文に明記してください。

送付先アドレス : journal@sfj.or.jp

●郵送の場合

電子ファイル化できるものは, それらをコンパクトディスク, USB などの電子媒体に入れてください。

電子媒体には原稿作成に使用した OS 名, ソフトウェア名 (Version) を明記してください。

お手数ですが, 原稿のコピーまたは電子ファイルをプリントアウトしたものを 1 部同封してください。

宛先 : 〒101-0033 東京都千代田区神田岩本町 4 番地 9
(一社)表面技術協会 会誌編集委員会

12. 著作権

掲載された記事の著作権は, 本会『著作権規程』に従い, 一般社団法人表面技術協会に属します。

*原稿の取扱

原稿の内容については著者が責任を負うこととなっております。他の著作物から, 図, 表, 文章をそのまま転載する場合には, 必ずその著作権者の許可を得ておいてください。

原稿は編集委員会で審査をさせていただき, 著者の了解を得て, 字句の加筆, 修正, 一部の改変を行うことがあります。また, 場合によっては一部の書き直しをお願いすることもあります。

*問い合わせ先

ご不明な点などがありましたら, 下記に連絡してください。

(一社)表面技術協会 事務局

電話 : 03-3252-3286

ファクシミリ : 03-3252-3288

電子メール : journal@sfj.or.jp

『表面技術』表，図の書き方

1. 共通の注意事項

- (1) ひとつの原稿に使用できる表および図の数は、原稿の種類に応じて制限があります。また、たとえ制限枚数以内であっても、その内容はよく選択して必要最小限にとどめてください。
- (2) 表および図はすべて A4 判用紙 1 枚に 1 つとして表示してください。ただし、相互に関連する 2 つ以上の原図を見苦しくない範囲内でまとめて 1 つとすることは差し支えありません。

2. 表について

- (1) 表は簡潔にわかりやすくまとめてください。表のなかに特にスペースをとるような複雑な図（例えば写真や有機化合物の構造式）や数式，文章を入れることは避け，脚注などを使って表としてまとまりが良いように工夫してください。
- (2) 罫線は原則として横罫に限り，その本数は必要最小限にとどめてください。
- (3) 表題は和文とし，本文に引用する際は，**表 1**，**表 2** と表示してください。

3. 図について

- (1) 図はそのまま原寸大または縮小して使用いたしますので，原則としてモノクロ印刷をしても鮮明かつ図中の線，文字などが判別できるものとしてください。文字，記号，数字などの大きさは掲載用に縮小した時点で 9 ポイントに（本文の文字の大きさ）となるように記入してください。なお，図は原則として横幅 85 mm（片段）あるいは 175 mm（通し段）でレイアウトされます。縮小時には線の幅も縮小されることにご注意ください。
- (2) 表題および説明は全て和文を用い，本文に引用する際は，**図 1**，**図 2** と表示してください。

4. 写真について

- (1) 写真は図として取り扱います。従って，原稿はすべて図に準じて作成してください。番号は図と一連の通し番号で表示してください。
- (2) 写真原稿は，原則としてデジタルデータを使用してください。プリント，ネガフィルムおよび他の印刷物からコピーしたものは原則として受け付けられません。
- (3) 写真中に文字，記号などを入れる場合は，表示したい部分に重なるように文字，記号などを記入または貼り付けてください。写真の外側に文字，記号などを入れる場合は紙に直接記入してください。

5. 解像度と色について

- (1) 図（写真を含む）は解像度 300 dpi 以上としてください。
- (2) 冊子版の図は，カラーであっても，そのままモノクロ印刷します。電子版（J-Stage）の図は，著者が提出した図の色で公開します。
- (3) カラー印刷を必要とする場合は，事務局にその旨を連絡してください。編集委員会で検討します。